

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|--------------------------|--|--|
| 事故等番号 | 2011横第17号 | |
| 事故等種類 | 火災 | |
| 発生日時 | 平成23年1月21日 09時25分ごろ | |
| 発生場所 | 三重県尾鷲市須賀利浦東方海域 紀北町引本港大石灯台から真方位066°900m付近 (概位 北緯34°05.4′ 東経136°15.9′) | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年1月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | | |
| 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | 漁船 第二天 ^{てんよう} 丸、10トン ME2-5824（漁船登録番号）、有限会社熊野養漁 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型船舶操縦士 | |
| 死傷者 | 負傷 1人（甲板員）（顔面、両手背に2週間の加療を要する熱傷） | |
| 損傷 | バッテリー及び機関室内壁焼損 | |
| 事故等の経過 | <p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、須賀利浦東方海域において、養殖筏のフロート交換作業を実施中、平成23年1月21日09時25分ごろ、船長が、機関室からの異臭に気付いた。</p> <p>本船は、船長が操舵室から機関室内を点検したところ、バッテリー付近から煙が上がっているのを認め、海水をバケツでくみ上げて消火作業を行うとともに、僚船の散水機による放水により、09時45分ごろ鎮火した。</p> <p>本船は、バッテリー等が焼損して運航不能となり、僚船に横抱きされた状態でえい航されて須賀利漁港に入港した。</p> | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2 海象：平穏 | |
| その他の事項 | <p>本船は、機関室からの煙を発見する約10分前に、船長が、主機を始動した際、パチパチと異音を発して始動しなかったことから、主機の点検を行ったものの異状を認めず、再度始動を試みたところ、通常通り始動した。</p> <p>本船は、操舵室の下部に機関室が配置されていて、機関室入口の蓋は、開けられていた。</p> <p>機関室内は、中央に主機が、後方両舷に燃料タンクが設置され、右舷燃料タンクの中央寄りにバッテリー2個が装備されていた。</p> <p>本船は、バッテリーが焼損し、付近の電線が、激しく焼損していたが、主機に焼損等がなかった。</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>不明</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、須賀利浦東方海域において、養殖筏のフロート交換作業を実施中、機関室内から出火し</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>て火災が発生し、周囲に燃え広がったものと考えられる。</p> <p>本船は、機関室に置かれたバッテリー付近の電線の焼損が激しく、何らかの原因で電線から出火した可能性があると考えられるが、焼損が激しく、その状況を明らかにすることはできなかった。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、須賀利浦東方海域において、養殖筏のフロート交換作業を実施中、機関室内から出火して火災となったことにより発生したものと考えられる。</p> |